

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311

笠岡大教会 創立110周年

三年千日スローガン

論達を実践し、をやの理を戴こう

本年の実践項目

つとめに専心
百万軒にをいがけ
全教会で陽気ぐらし講座開催

今年のこと

もおぢばがえりは「おやさ」とに よろこびいっばいひのきしん」のテーマで7月26日から8月4日まで10日間に亘って

なり、この夏も日ごろからの縦の伝道の成果に各

教会の育成係も大いに喜ばれたことでしょう。

また笠岡団のむつみ鼓笛隊は日ごろの練習の成果を発揮し各隊とも御供演奏につづき鼓笛オムパレードに出演し、本隊・福山隊・高屋隊・島根隊とも銀賞を頂きました。

一方詰所では連日の受入れに目の回る忙しさで、帰参した子ども達に喜んでもらおうと朝早くからの食事準備、冷たいお茶の製

造、風呂の掃

除やこどもに

適した湯の温度管理まで、

きめ細かいもてなしにとひ

のきしんの方々

もてんやわんやの忙しさでした。また、

青年会、婦人会、少年会の

合同で7月28日・29日・8月2日の

3日間中庭でゲームやタコ焼き・かき氷・フライドポテトなどの夜

店が出され、大人もこどもも夕べのひとときを楽しみました。

詰所ひのきしんの人曰く「今頃の

こどもたちは行儀がよ

くなつたのか、あるいは元気がなくなつたのか大暴れする子がいなくなつて

ちよつと寂しいなあ？」と話していました。

なにはともあれ、今年も大過なく無事に「こどもおぢばがえり」がつとめられたことを親神様・

教祖に御礼申し上げます。また教会の方々には暑い中のお世話どり大変ご苦労さまでした。詰所と

ひのきしんのみなさま有り難うございました。



行われ、全教では28万人有るの帰参者で、おぢばは連日こども達の元気な声でにぎわいました。

今年から白川会場のお楽しみ行事が神殿の周辺一帯に移動したため、どこの会場もいつも超満員の盛況だったようです。特に仕込み・伏せ込み行事への参加が増えたのは良い傾向だと思います。

さて、笠岡大教会では期間中にそれぞれの教会の実情に合わせて団体列車・観光バス・マイクロバス・ワゴン車など様々な形での大勢の帰参と

第58回英語講習会開催

「英語が話せたらいいな。英語が分かるようになったらいいな」と、思ったことはありませんか。大教会海外伝道部では、英語が好きな人もそうでない人も共に楽しみながら英語が勉強できるようにとの思いで1968年から「英語講習会」を開催して参りました。

58回という教内でも最古の歴史を誇る今回の講習会には、本部の天理教語学院（TLI）より田所レイ先生（高岡大・ハイサクラメント教会長子弟）を講師として迎えました。田所先生はUCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）を卒業、学生時代はアメリカンフットボールの選手だったというスポーツマンです。こどもおぢばがえり期間中はずっと教庁前の交差点で交通整理ひのきしんに励み、真っ黒に日焼けした逞しい顔つきで参加して下さいました。

さて、8月5日から7日にかけて開催された今回の講習会には受講生18人、スタッフ12人の合計30人が参加しました。レッスンは4台あるパソコンが有効利用できるよう計画され、面白くてためになる最新の英語学習ソフトが入っているCD-ROMを利用しました。このCD-ROMというのは音楽を楽しむCDと良く似ていますが、パソコンにかけると音と映像のを両方楽しめる便利なものです。無論、機械に頼るだけではなく、教育経験者を中心にしたベテランスタッフ達によって工夫された手作りのレッスンも行われ、リスニング（英語を聞き取る力）に関してだけ言えば、受講した生徒達は短期間に見違えるような上達をしました。また、勉強だけに偏るのではなく、花火大会に出かけたり内海町の横山海岸まで海水浴に行ったりと、楽しく充実した2泊3日を過ごしました。

このようなバラエティな内容を含む英語講習会ではありますが、近年参加者が減少傾向にあります。IT（情報技術）革命が進み、小学校にも英語教育が導入されようとしている現在、英語の重要性は高まる一方です。何卒、多くの方々に英語講習会参加のお声がけを下さると共に、積極的なご助言・ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

百万軒にをいがけ 活動を通して

イチロー選手打率四割の話題から

雲東分教会長 三代 温生

過日、大型団地の直ぐ近くなのだが誰も行きたくない魔の空白域を何ヶ月振りに一軒一軒訪問した。こゝに一軒あの谷に二軒と僅か二十五・六軒廻るのに二時間半近くも費やした。

百万軒にをいがけは「敢えて数にこだわると仰せなので、数をこなそうとて自然密集地の最たる団地に皆の足が集中する。一時期団地の住民から「同じパンフレットが毎月三枚も四枚も入る」との苦情が出た事があった。地域を同じくする関係六ヶ所の教会が団地を分配し担当を決める一幕もあった。

一人でも多くの用木の方々に旬の理を受けて頂いて実動を願ひ、一日一軒月三十軒を最低目標にパンフレット数と配布地を決めて頂く。一寸やり過ぎではと思ったが、各人の実動がひと目で分り切磋琢磨し互いにやる気が引き出せるよう、その一覧表と月々の総配布数をグラフにし掲示させて頂いた。現在二十五・六人の方々が配布の数は多い人少い人それぐ、年、理を受け実動して下さつ

ている事は、立場を頂く会長としては有難い限りである。

プロ野球シーズンたけなわのこの時期、優勝の予想よりイチロー選手の打率四割成るかにファン

の注目が集つ

ている。選手

にとつて三割

さえも至難の

業なのに四割

は神業なのだ

ろう。

我が教会を

ふり返ると、

細々であるが

地道に二十

五・六人の
方々が実動下
さつている。
用木数からは
五割近い打率
に値する。百
万軒にをいが
けお打ち出し
前までは、パ
ンフレット一
枚配る人よう
くであった
事を思う時、

これは神業以外何物でもないと思案する。願わくば一軒く手渡しと明るい一声が掛けられる中味が加わった強打者が出てくるのを願っている草野球の監督の心境の昨今です。

先日、朝 仕事へ出かける時、ふつと家のポストを見たら1枚の紙が見え、あけてみると、「前世、今世、来世 一条に続く魂の道」と書いてあり、読みました。
今の私を見られていたかの様に、私を思い直させられる事が書いてありました。
中でも、一番 心に ひびいた文章は、「間違いのないように通りなさい。□□□」の3行でした。
欲のありすぎる自分を イヤだと思いながら、心を浄化したいけど、行動が違ってしまふ。日々 イライラとしながら過ごしています。
今日は、ただ お礼を言いたくて 手紙を書きました。
過去の間違った道を歩きかけていた時に、この1枚の紙が届き、とても 助かりました。
本当に ありがとうございます。

失礼だと思いますが、住所、名前は書かずに送らせて頂きます。

雲東分教会に届けられた1通の手紙

Leather's Min-Tsuan
心の通ひ路

働 き

作備分教会長 三宅俊正

会社在职中にお運びして教会長の許しを頂き二ヶ月後に退職し教会に移り住み四ヶ月余り過ぎました。そこで働きについて考えてみました。教祖は「働くというは、はたはたの者を楽にするから、はたらくと言うのや」とお聞かせ下されました。世間一般には生活のため働くとか、働かねば喰えぬと言います。私もその中の一人であり、働く中に生き甲斐を見つけ求めました。私達道の子の働きとは何かと思案させて頂くと、神の働きに手だすけをする。自らの心をみがき、教えを弘めようきぐらしの世の中に替えるよう働く事だと思えます。現在いろいろの理由で働きながらの信仰、働く教会長等世上働きが神一条の道に遠いという意見も聞くが、神の働きに参画する事を第一に考え実行するなら、それはそれで良いと思われる。教祖在世時代に飯降伊蔵先生をはじめ多くの先達は大工、鍛冶屋、農業等の職を持ち世に認められる働きをしながら、その働き以上にお屋敷に心を寄せ仕えられ、更に命を掛けておつとめをされた方々であった。教祖の言われた「この屋敷には働



き)があればこそ私達は働けるといふ事と一れつ兄弟の働きにも感謝して日々通らせて頂く事が大切であります。又教祖は朝起・正直・働きとお教え下されています。これを実行すれば親神様が働き下されると信じます。

夏に子供を募りて頂きたい

木津和分教会 丸山正人

立教163年夏のこどもおぢばがえりが今年もやってきました。上下分教会会長様の、大型バス三台という心定めに、木津和分教会でも20人の心定めをし地元の子供を募集させて頂きました。歩かせてもらう中にすぐ決まる子供もいれば、三回位その家へ行かせてもらいようやく決まる子供もいました。結果、子供14人、幼児2人、大人7人の親神様の御守護を頂き、7月29日〜31日におぢばへ

く手はいくらでもほしい、働らん手は一人も要らん」と言われたのは我が身思案のみの働きでなく神の心(人だすけ)にそう働きだと思われ。親神様の自由の御守護(働

かえらせて頂きました。

前日の夜、自分の三男が熱を出しどういふ神様のおもいかと考え上級へその夜、参拝させて頂きました。朝三男はまだ熱がありました。少し家のことが気になりましたが、責任者ということだったのでおぢばへへ行かせてもらいました。おぢばへ着き神殿に参拝させてもらい家の方へ電話をかける。三男の熱は下り元気になったと母の言葉を聞き、親神様にもたれきることが大切だなと思いました。

話はまた続きます。30日の朝づとめ後から一緒におぢばがえりさせて頂いた小学校三年生のS君の、関節が痛みだし熱がでてきました。おつとめ学び教室の後、詰所へ帰り休むことになり、心配しながらも一緒に来ていた三人のおばさんにまかして、子供たちと一緒に行事へ、参加させてもらいました。夕方S君の熱も下りパレードへ行くといいことで、車いすに乗り行かせてもらいました。パレードから帰りS君の服を脱がせている時、両肩が痛いと言われ、これは少しおかしいと思いは係りの先生と相談し、いこいの家へ連れて行かせてもらいました。検査の結果、そく入院との言葉に、僕も女房も大変驚きました。先生の絶対安静との言葉に僕





たちだけでは、判断できないので、S君の家へいこいの先生から電話で説明をしてもらいました。とりあえず、その夜詰所へ帰ることを許されい安心しました。連絡を受けてから夜じゆう走ってS君の両親が朝詰所へかけつけてくださいました。S君の両親も心配だっただけに、S君を見るなり安心したのでしょうか目頭をおさえておられました。S君の痛みはおちばがえりの前からあったそうです。両親も本人もさほど気にせず、すぐなおる位に考えられておられたようです。おちばへかえらせてもらってからこそ、早くにその痛みがほつけない状態であることに気づかせて頂きました。現在、S君は地元の病院へ入院中です。一日も早い彼の回復を願うばかりです。

またその間、家の方では親戚の交通事故、組内の方の入院と、今回の団参では、道中に留守宅にと、色々節を見せて頂きましたが、大難を小難におつれ通り頂きました。この節をきつかけに、どうぞ、お互いが喜んで、勇んで通らせていただきます。

布教所長夫妻成人研修会

アンケート

立163.5.27〜28
於 大教会

① 布教所長としてのつとめに喜びとやりがいを感じますか。

- (1) 強く感じる。……………17人
- (2) まあまあ感じる。……………12人
- (3) あまり感じない。……………1人
- (4) 全く感じない。……………なし

② この道こそ真実の教えであると信じますか。

- (5) 確信している。……………25人
- (6) 曲がりなりにも信じている。……………5人
- (7) よく分からない。……………なし
- (8) そう思えない。……………なし

③ 自分の家族に布教所長を後継させたいと思えますか。

- (9) 必ず後継させる。……………15人
- (10) できればさせたい。……………13人
- (11) 余りさせたくない。……………なし
- (12) 絶対させたくない。……………なし

④ おちばの月次祭に毎月参拝していますか。

- (13) 必ず参拝する。……………6人
- (14) 時々参拝する。……………20人
- (15) ほとんど参拝しない。……………3人
- (16) 全く参拝しない。……………なし

⑤ このお道の師と仰ぐ人がいますか。

- (17) いる。……………24人
- (18) いない。……………4人

⑥ 布教所長としての今一番の悩みはなんですか。

- (19) 自分自身の高齢化と将来の不安……………11人
- (20) 後継者の不在……………3人
- (21) 後継者の結婚難……………3人
- (22) 経済的困難……………2人
- (23) よふぼくの減少……………11人
- (24) お供え(運び)……………5人
- (25) 上級教会との関係……………1人
- (26) おたすけ(実が上らない)……………11人
- (27) その他……………2人

⑦ 毎月日を定めてにをいがけを実施していますか。

- (28) 日を定めて実施している。……………2人
- 月1回……………

月2回	3人
月3回	1人
(29)不定期に実施している。	20人
(30)実施していない。	4人

⑧大教会創立110周年記念祭はいつかご承知ですか。

(31)立教163年11月11日	なし
(32)立教163年11月29日	1人
(33)立教164年11月29日	27人

⑨大教会の月次祭に参拝されていますか。

(34)毎月参拝している。	6人
(35)時々参拝している。	18人
(36)全然参拝していない。	4人

⑩大教会（詰所）へ望むこと。

- 布教所・教会の後継者、特に中・高校生対象として、何か活動を毎月、定期的に出来ないものか。
- 若いなりたての教会長を、もっとく成人させて頂ける場を作ってください。
- 前会長を大教会で、おたすけなどに使って欲しい。
- 修養科の教養係にもう少し出来る人を当て、欲しい。
- 修養科は毎月入学にしてもらい度い。
- 修養科生を指導する統一した指導指針がない。

○別席等、順序参拝に必要な手続書類、お供の一覧表が欲しい。

○詰所のお風呂場にもう少し洗いオケ、石鹸等、もう少し数があればよい。

○おたすけに励んでおりますが、育てがなかく出来なない。大教会で作業所とか、体の弱い人でも働ける所を作って頂き度い。

⑪山田鎮郎先生の講話のご感想をご記入下さい。

- 結果が出る事を期待して、においがけ・おたすけするのではなく、たとえ結果は出なくともいたずらに神様を信じて人助けに日々取り組まねばならないと思いました。
- おたすけの前に、あれこれ考えてしまう（先案じ）事は、神様を信じ切っていない事。これから止めようと思います。
- 最近布教意欲がなくなり、この先どう歩んだら良いかわからなくなっています。山田先生の教会のように、目標をもって頑張っておられる所もある事を知りました。自分達も目標をもって布教意欲に燃へて、もう一度頑張りたいと思います。
-
- 自分のお道の通り方・考え方がよく似ているので大へん感銘を受けました。.....
- 講話が具体的（教理と実践）で、とても分かり易く良かった。.....
- 布教所長としての立場の自覚を再認識し、これ

からの日々の通り方を新たな気持ちで勇んで通らせて頂くと思います。

○自分には、用木としてのつとめが足りないと感じた。

○素晴らしいお話しを聞かせて頂きました。布教所長として用木として実行が出来ない事を残念に思いました。とにかくおたすけに一生懸命に頑張らせて頂きます。

○「成つても一つ、成らなくても一つの理として受け取る」というお言葉と、「因縁あれば切ればよい、徳が無ければ徳を積めばよい」というお話しは、激励を受けた。

○先生の講話テープが欲しい。

○信仰信念を常に持ち続け、にをいがけ・おたすけに今以上に情熱をもって頑張りたいと思います。

○人徳のお話しは、とってもよくわかりました。徳分はいろいろあるということ考えさせられました。講習会本場に有難うございました。

○山田先生の力強い、布教のお話しは、大いに勇気づけられました。希望をもって歩めます。

○陽気ぐらし講座講師として、色々な体験のお話し聞かせて頂き、参考になりました。講座開催を早いうちに実現出来るよう努力したいです。

○心の底から実行しなければと思いません。いろいろとお話しを聞かせて頂き、日々におたすけの実行、神様へのつとめが足りてない事がわかりました。申し分けなく思っております。

七月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎しんで申し上げます

親神様には「月日にハセかいちううハみなわが子かハいい、ばいこれが「ちよ」との親心から与え給うた心と貸し物である身体を御守護下さり永の年月変わらぬ御恵みによって今日までお育て下さっておりまして、その理がわからず心を気ままに遣い人の親和を乱し人を傷つけそれが為返って苦しみに喘いでいる現代の人々の姿であるのに関わらず親心は常に変わる事なく自由のお働きを下さいます事は誠に有難くお礼の言葉だけでは申し訳けなく世界一列を助けたいと親心を少しでも叶えさせて頂きたいものと日々々々のおつとめをつとめにをいがけおたすけにと邁進させて頂いております

その中にも今日の吉日は七月の月次祭を執り行う日柄でございますので只今からおつとめ奉仕者一同心を一につに睦び合つて明るく陽気に勇んで座りつとめてをどりをつとめさせて頂きます御前には夏本番の暑さ厳しき中をも厭いませず寄り集いました道の子供達が相共にお歌に唱和し日頃のご高恩に改めてお礼申し上げる真実の状態をご覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

又今年も子供おぢば帰りが近づいて参りました少子化により参加人数が減少傾向にあります但し募集の上にはより力を入れて勤めさせて頂いておりますどうぞ事故怪我等がないようお連れ通りの程をお願い申し上げます更に又八月は学生生徒修養会や英語講習会そして野外キャンプ等学生層の育成の時期でもありますその思いを一層強くし共々に育成に関わることを目指して本日は学生層育成者講習会を開催させて頂きます一人でも多くの大人が感心をもち関わるることによって少しでも子供達の成人に繋がりますようお願い申し上げます

さて先月本部月次祭の最中かろるだいが倒されるという大節を見せて頂きました「このだいをどぶゆう事にもっているこれにはほんの「一」のたからや」とお示し戴く事から思案させて頂きますとこれは道の子に対しての急ぎ込みであり道の子一人々々が我が身勝手手の信仰に気付き真に親に喜んで頂ける道を歩む事が大切と悟らせて頂きました自己満足の信仰から親子満足の信仰へしつかりと心を立て替え常に親ひながたを心に湛えてたすけ一条の道を歩ませて頂く覚悟でございます

何卒親神様には皆の真実の心定めをお受け取り下さいまして万たすけの上に自由の御守護を賜り親神様の思召が世界中に広まってお望み下さる陽気ぐらしが一日も早く実現しますようお願いの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

今後は、足腰の立つ間は少しでも、神様・おやさまにお喜び頂けるように、つとめたいと思っております。

○「いんねんを自覚し、いんねんの苦勞を道の上の苦勞に切り換えて、通らせて頂くと、神が、足らぬ所は、足して十二分に受け取って下さる」のお話しは、心に響きました。…………… 3人

○おたすけとまではいかぬのですが、少しでもと、にをいがけに歩かせてもらっています、ついでに子供にかまけて、にをいがけが、おろそかになっています。布教所(家)に居ると、家庭の不満・不足が目につくこの頃です。先生のお話しを聞かせてもらい、どうせ苦勞するなら、人だすけの苦勞させて頂こうと、強く思いました。

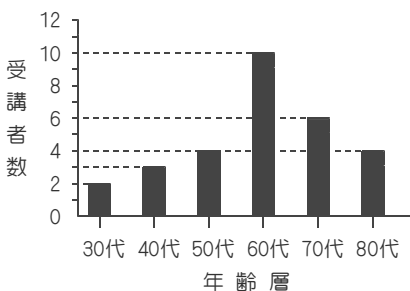
○おたすけと、上級の祭典は、勝手をせぬよう、必ずつとめさせて頂きます。

○言い分けばかりで、なかく成人して頂けない人を、どう導いたら良いか、思案にくれていたが、お話しを聞き、自らの反省を含め、いろいろ考えさせて頂きました。

アンケートまとめ

○以上、受講者29名回答。

○受講者年齢グラフからみても、布教所長の高齢化と共に、布教力の低下と、又、後継者難を考えさせられる。



9月 は 布教推進強調月間

3日～10日
青年会 全分会布教推進週間

21日 海外伝道推進講話(祭典講話)

22日～24日
雅楽講習会

23日～24日
女子青年 こかん様に続く会

28日～30日
全教一斉にをいがけデー

ふたこと みよし

交差点の信号は赤。私は車を止めた。「フーン！」後から大きなクラクション。バックミラー越しに見ると大型トラック。いやな予感。運転手が走って私の車の方に来る。やっぱり。ドアのガラスを人差指で叩きながら「あんさん。サンジはまだかのー？」

車の時計を見ながら「まだですよ」と私。「あとの位かのー」「今、二時半だからあと三十分ですよ」

運転手はキョトンとしている。

信号が青になったので私は車を進めた。トラックはパーキングラ

ンプをつけて道路の左側に停まっている。

数日後、同じ交差点を通った。直前に道路標識があった。「心新市」「三次」と。あつ！そつだったのか。あの運転手「三次みよし」を「サンジ」と読んだのだ。「みよし」に行くため私にどの位時間がかかるか聞きたかったのだ。たまたま二時半だったので、あと三十分と答えたが失礼な事をしたものだ。

同誌、先月号「ふたこと・みこと」の「頂く」考を読みながら日本語の使い方の難しさを改めて知った。同時に読み方も。

たとえ「サンジ」といっても「みよし」を読み違えているのだからという位の漢字読解力が私にあればと悔まれる。

私も所詮、偉そつな事をいっていても、世間知らずでコップに入った焼酎の中ただ泳いでいる氷のようなものだ。トホッホッホ！